

一般質問発言通告書

発言順位	5番
------	----

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年2月14日

三島市議会議長 堀江 和雄 様

三島市議会議員 8 番 弓場 重明

質問事項1	『市長、本当に市庁舎、南二日町で良いのですか』第2弾
具体的内容	8月22日に新庁舎整備予定地として南二日町広場への移転新築の方向性が示され、11月14日には「三島市新庁舎整備基本構想(案)」の説明があった。今回、当局の南二日町への移転に対する大筋での考え方が示され、そこで、今までの経緯と現在の状況と矛盾点について、多方向の視点から伺います。
1	液状化について伺います。今まで液状化についての質問をしましたが、数値を示して答弁いただけなかったのが大変残念です。改めて以下伺います。 (1) 当局資料として、国土交通省の指針に沿った液状化の可能性を示す数値 $5 < 7.379 < 15$ がある。最大予測震度6強で液状化の被害殆ど無しとの答弁。その科学的根拠を数値を示して伺います。 (2) 液状化の可能性のある南二日町の敷地、なぜか地質調査をして科学的根拠を示さない。移転が決まってから調査するのは本末転倒。それ以外の理由か、南二日町に誘導する為なのか伺います。
2	概算事業費の根拠が故意に南二日町に誘導するかの如く作成されている点について伺います。 (1) 今回の概算事業費算出に、ライフサイクルコストはなじまない。概算事業費を膨らませることで差をつけ、南二日町に誘導する為の操作でしかないと考えますが、その点について伺います。 (2) 市庁舎を北田町で建替える場合、164台の駐車スペースの立体駐車場が必要と有る。事業費算出に、3倍高い坪単価を用いて算出。何故か5億1千万円の金額の差が出るのか伺います。
3	アンケートの内容、調査方法、結果とアンケートが故意に南二日町に誘導するかの如く作成されたのではとの疑問がある。その点について下記に伺います。 (1) アンケートの5比較表・防災(地震による危険性)の欄に『最大予測震度6強で液状化ほとんど被害なし』。当局資料と違う記載が有った。その点について伺います。 (2) 河岸浸食(家屋倒壊等氾濫想定区域)の恐れのある区域を明記しなかった理由を伺います。
4	市庁舎を南二日町に移転新築すると仮定した場合、建設前後の周辺のインフラの整備は待ったなし。市庁舎移転新築事業費は約100.4億円。周辺のインフラの整備費は約200億円以上必要になると考える。向こう10年間の三島市の財政が耐えられるのか、市政運営が懸念されます。その点について伺います。これはライフサイクルとは別に算出。(旧下田街道及び枝道の整備・駿豆線二日町駅及び周辺の整備・国1結節点の整備・電線類及び上下水管の付替・内水氾濫地区の対応・バス路線他)
5	借地部分は、交換の手法により庁舎敷地借地部分の解消を図ると有るが、大半が駐車場として今までどおり残り(職員が一部負担)、未来永劫借地料を払い続ける事になるのでは。もし、駐車場として利用する土地を返還した場合、駐車台数は何台減るのか、併せて見解を伺います。
6	拠点としての市役所の位置づけと避難が長期に渡ったとき、避難者への対応について伺います。
7	液状化、見積り、アンケート、3つの点について市長に伺います。